

パフォーマンス状況と組入銘柄



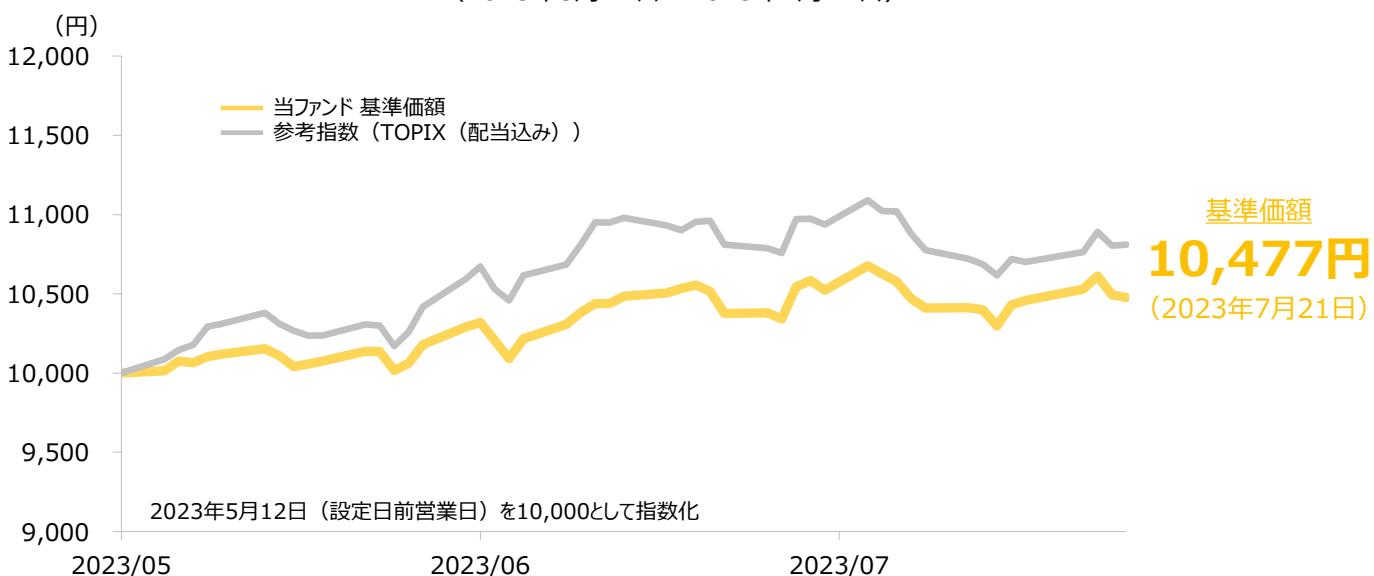
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

パフォーマンス状況 (2023年7月21日現在)

- 当ファンドが設定されてから2ヶ月余りが経過し、2023年7月21日現在、当ファンド基準価額は10,477円、純資産総額は808.1億円となっております。
- 現在の当ファンドのポートフォリオにおいて中小型株の比率が多いのは、対話による改善余地が高いと考えられる企業が中小型企業に多いためです。
- 引き続き潜在価値の高い企業への選別投資と、対話による企業価値の顕在化によってもたらされる長期的なリターンを追求していきます。

当ファンドの基準価額と参考指標の推移

(2023年5月12日～2023年7月21日)



当ファンド上位5銘柄

(2023年6月30日現在)

銘柄総数：29銘柄

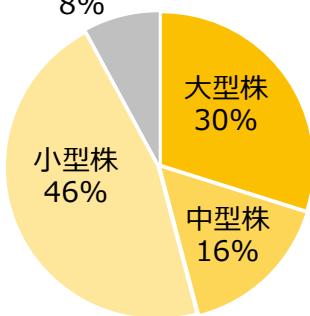
| 順位 | コード | 企業名 | 業種 | 保有比率 |
|----|------|--------|----------|------|
| 1 | 5344 | MARUWA | ガラス・土石製品 | 4.1% |
| 2 | 7011 | 三菱重工業 | 機械 | 4.0% |
| 3 | 5310 | 東洋炭素 | ガラス・土石製品 | 3.8% |
| 4 | 2201 | 森永製菓 | 食料品 | 3.7% |
| 5 | 7716 | ナカニシ | 精密機器 | 3.6% |

時価総額別構成

(2023年6月30日現在)

キヤッショ

8%



当ファンドの運用方針

潜在価値の高い企業への選別投資と、対話による企業価値の顕在化により、長期的なリターンを追求

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ 時価総額構成はスパークス・アセット・マネジメントの定義によるものです。日本の上場企業について、株式市場全体に占める時価総額の上位70%以上を大型株、下位30%～15%を中型株、下位15%以下を小型株と定義しています。

※ TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマークではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2023年7月21日現在)



組入銘柄の紹介：東洋炭素（5310）

同社の強み

高品質な半導体製造に必要な特殊黒鉛製品に特化した世界トップクラスメーカー

- ✓ 同社の特殊黒鉛製品は半導体の土台となるウェハーの製造工程で、品質の確保に欠かせない部材
- ✓ ニッチな領域である特殊黒鉛製品は、技術的なハードルが高いために製造できる企業が限られており、同社は世界トップクラスのシェアを誇る

- ✓ 電力効率が高いSiCを用いたパワーデバイスは電気自動車（EV）向けなど今後世界的な需要拡大が見込まれる
- ✓ 同社の特殊黒鉛製品は優れた耐熱性などを併せ持ち、過酷なSiCパワーデバイス製造工程にも採用されている

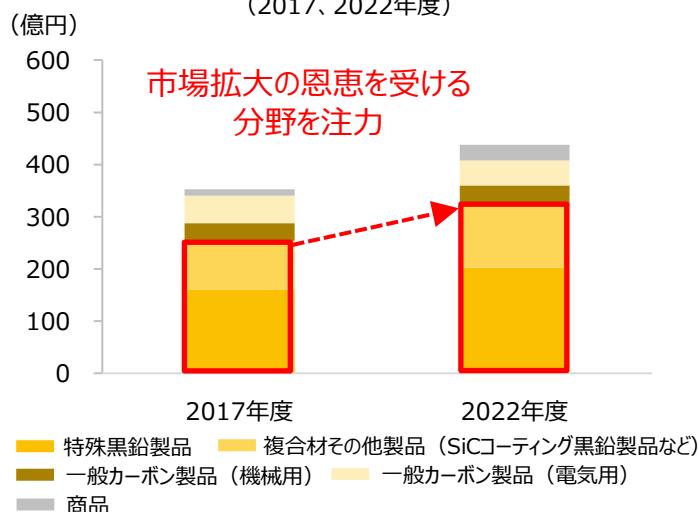
受注金額の推移（一部半導体用途以外も含む）

（2020～2023年、四半期ベース）



製品・分野別売上高の比較

（2017、2022年度）



【同社への対話段階】～課題提起段階～

- ✓ 製造に6か月～8か月ほどかかるため、受注から資金回収までの期間が長い。
- ✓ そのため、多額の運転資金によりバランスシートが肥大化してしまっており、低いROEの一因となっている

2023年2月

中期経営計画においてROE10%の目標を掲げており、今後3年間で500億円もの設備投資計画を発表



株価推移

（2018年6月29日～2023年6月30日）



※ 上記の画像とイメージ図はご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

※ 過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

出所：会社資料、各種資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2023年7月21日現在)



組入銘柄の紹介：森永製菓（2201）

同社の強み

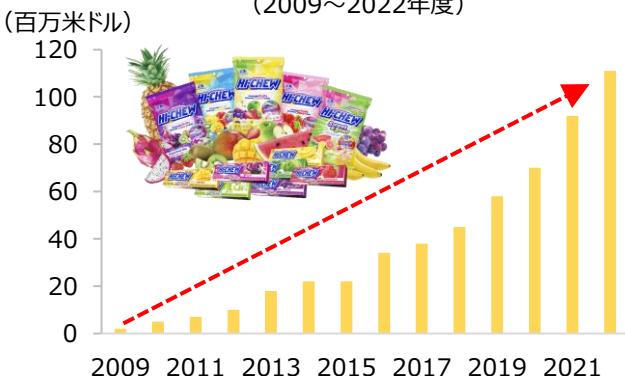
高利益率の米国事業の更なる進展と国内菓子事業の収益性改善への取り組み

- ✓ 高い利益率の米国ハイチュウは、米大リーガーの口コミから始まり、2016年にはウォルマートで販売開始されるなど米国で人気が定着
- ✓ 米国ハイチュウの売上けん引により、同社海外売上高比率は2017年度6.5%→2022年度11.2%にまで拡大
- ✓ 米国事業は、設備増強による生産拡大やinゼリーの市場投入により今後も更なる高成長が期待できる

- ✓ ゼリー飲料などの「in事業」、アイスの「冷菓事業」なども高い収益性がある一方、国内菓子事業の低収益性が課題
- ✓ 国内菓子事業の継続的な値上げや製造ラインの効率化など抜本的な改革を表明していることを評価

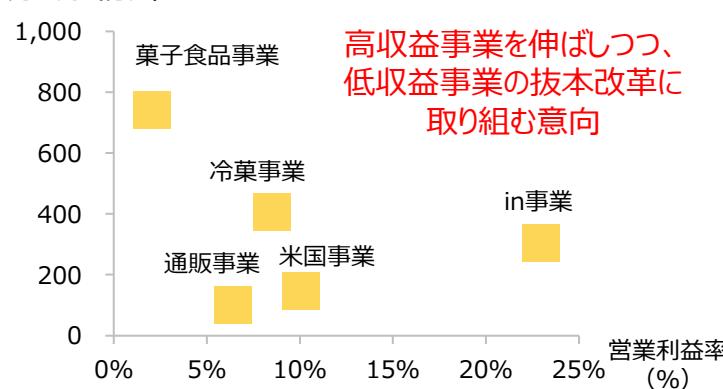
事業別売上高と営業利益率 (2022年度)

米国事業売上高推移
(2009～2022年度)



売上高 (億円)

高収益事業を伸ばしつつ、
低収益事業の抜本改革に
取り組む意向



【同社への対話段階】～議論発展段階～

- ✓ スパークスはこれまで何度も太田社長と面談を実施し、低収益にとどまっている国内菓子事業の在り方や、資本政策について議論を重ねてきた

2023年5月

- ✓ 決算説明会で、事業に使わない資金の大幅な還元を発表
- ✓ 太田社長との面談で、国内菓子事業の生産性改善、米国事業への投資を強化する旨を確認



国内の構造改革や合理的な資本政策を進めつつ、
海外の成長に舵をきる強い意思を確認

今後の期待と課題

- ・ 海外事業の更なる生産体制の拡充
- ・ 国内菓子事業における商品の選択と集中、生産能力の合理化
- ・ 資本配分策の着実な進展

株価推移 (2018年6月29日～2023年6月30日)



※ 上記の画像とイメージ図はご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。

※ 過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

出所： 会社資料、各種資料、スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2023年7月21日現在)



■ 基準価額の変動要因

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さんに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因は、次の通りです。

- 株価変動リスク
- 集中投資のリスク
- 流動性リスク
- 信用リスク
- その他の留意事項（システムリスク・市場リスクなどに関する事項）

※基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、商品の説明、販売の事務等の対価として販売会社が受け取るものです。 |
| 信託財産留保額 | 換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。 |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | 日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.573%（税抜1.43%）を乗じて得た額とします。 【信託報酬の配分：内訳（税抜）】 委託会社：年率0.70%、販売会社：年率0.70%、受託会社：年率0.03% 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 運用管理費用（信託報酬） = 運用期間中の基準価額×信託報酬率 |
| 実績報酬 | 計算期間を通じて毎日、原則として前営業日の基準価額がハイ・ウォーター・マーク及び指値の両方を上回った場合、当該基準価額から当該ハイ・ウォーター・マークまたは当該指値を控除して得た額のいずれか少ない額に22%（税抜20%）の率を乗じて得た額とします。 ※実績報酬の詳細については交付目論見書をご参照ください。 |
| 監査費用 印刷費用 | 監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※監査費用：ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 |
| その他の費用・ 手数料 | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※組入有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息 |

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

<特化型について>

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般的のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。



■指標について

東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、J P X は TOPIX の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
(加入協会) 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社 下記一覧参照

| 販売会社 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|----------|--------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。